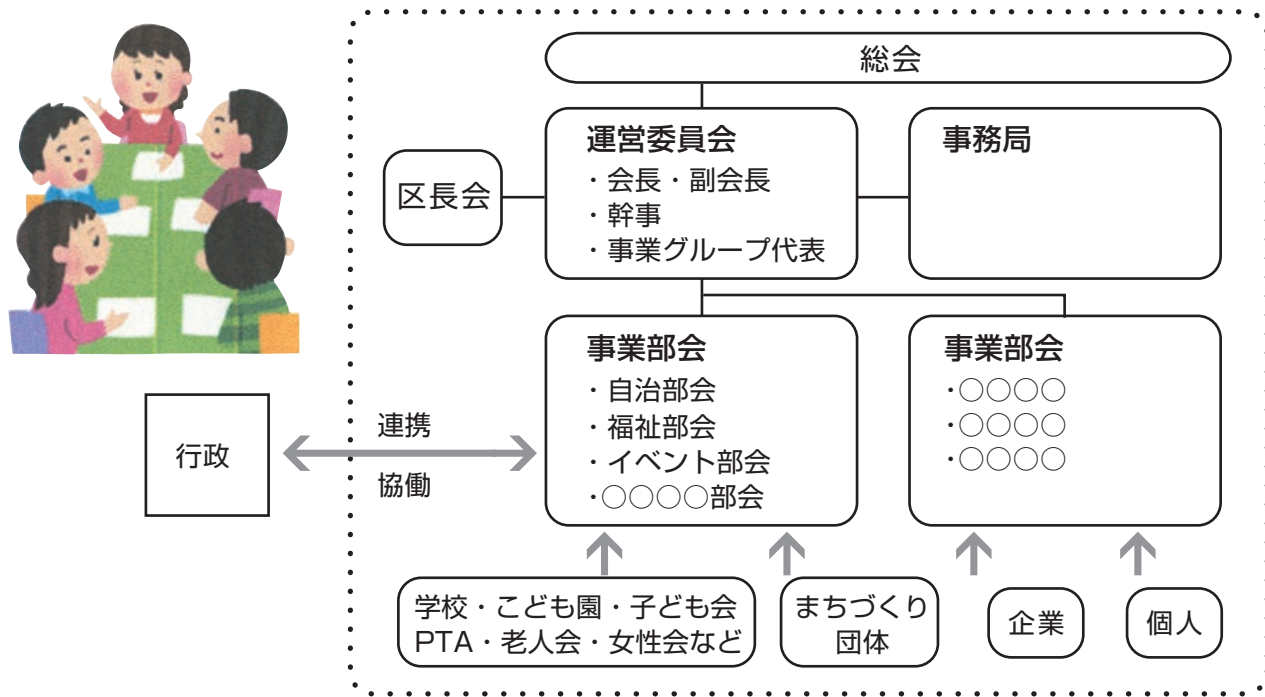


## まちづくりを進める体制

日野地区においても少子高齢化や人口減少がどんどん進んでいます。皆さんがいつまでも日野地区に住み続ける為には、自分たちの暮らしを少し大きな単位で考え、地区の総合力を高めていくことが有効かも知れません。

今までより、さらにいろいろな人や組織の参画のもとにまちづくりを進められるように「地域自治協議会」の設立を検討します。

■地域自治協議会のイメージ（これはあくまでもイメージ図です）



## 取り組みのスケジュール

	短期	中期	長期		短期	中期	長期			
<b>1. 住民参加のまちづくり</b>				<b>3. 子供が誇りを持てるまちづくり</b>						
(1) 地域活動に参加しやすい環境				(1) 子育て世代が住みやすい						
①地域活動への参加者を増やす	○			①子供たちの数を増やす			○			
②自治会への関心を深める		○		②若者が定着する工夫		○				
③世代をこえたイベントを開催		○		(2) 自慢できる住みよい地区						
(2) 地域活動を活性化・継続する				①子供が安全に遊べる場づくり						
①地域の団体の構成を見直す			○	②歴史・文化を保存・継承		○				
<b>2. 全世代が住み続けたいまちづくり</b>				(3) 地域への来訪者を増やす						
(1) 交通環境を充実させる				①集客施設を増やす						
①公共交通充実を要望		○		②地域の特産品づくりを進める		○				
②地域バス等の運営を検討			○	<b>4. 安全で安心で暮らしやすいまちづくり</b>						
(2) 高齢者・子供たちのふれあい活動を充実させる				(1) 暮らしのマナーを育てる						
①いきいきサロンなどの充実		○		①あいさつで顔の見える関係になる	○					
②高齢者や子供たちの活動の場を充実	○			(2) 安全に移動できる						
③高齢者や子供たちの見守り活動を充実	○			①歩道がない道路を改善		○				
短期：短期課題（すぐにでも取り組めること） 中期：中期課題（少し時間がかかりそうなこと） 長期：長期課題（時間をかけてじっくりやること）				(3) 杉原川を安全に保つ						
				①杉原川の整備を要望				○		
				②杉原川を美しく保つ				○		
				(4) 遊休資源の有効活用						
				①空き家問題を解決						○
				(5) 防犯・防災						
				①防犯活動					○	
				②防災活動				○		

## 第2期日野地区まちづくり計画【概要版】

# ～よいとこちがうか日野の里、明日に向けて、手をつなごう～

杉原川を活かし、市民がふれあい、交流できるまちづくり

日野地区は、西脇市北部に位置し、地区の中央を南北に流れる杉原川とその両岸に広がる農地や宅地からなる平野部と、それにつながる東西の丘陵地から形成される、自然豊かな農村景観の広がる地域です。

日野地区まちづくり計画策定委員会「よいとこちがうか日野の里」では、平成20年に「まちづくり計画」を策定し様々な取り組みを行ってまいりましたが地区をとりまく環境が変化し見直す必要が生じました。平成29年度には、このまちづくり計画の策定10年を迎えるにあたって、計画の見直しのために委員会を開催し、「第2期日野地区まちづくり計画」を策定しました。

第2期まちづくり計画では、日野地区に昔からある課題や、この10年で新たに明らかになった課題をとりあげ、課題解決の方法を提案しています。

この冊子は、第2期まちづくり計画の骨子を、地域の皆さんで共有するために発行するものです。

[平成29年度 第2期日野地区まちづくり計画策定委員会の開催経緯]

委員会	開催日	テーマ
第1回	6月27日	日野の行事   日野の資源・問題点の洗い出し
第2回	7月25日	まちづくり計画の達成度の確認・計画の見直し
第3回	8月25日	日野のデータ確認   地域内の問題点の抽出・整理
第4回	9月25日	課題解決方法の検討・取り組みの優先順位の確認
第5回	10月25日	計画テーマの整理・キャッチフレーズ作成
第6回	11月22日	計画4テーマの課題解決方法の見直し
第7回	12月25日	計画案の確認・補足事項の検討
第8回	1月31日	計画案の確認・完成
先進地研修	2月25日	朝来市内先進地（梁瀬自治協議会）視察研修

平成30年3月  
よいとこちがうか日野の里

# ～よいとこちがうか日野の里、明日に向けて、手をつなごう～

## 杉原川を活かし、市民がふれあい、交流できるまちづくり

平成29年度1年間をかけて、「よいとこちがうか日野の里」では、地域みんなが集まって、10年前に地域で作成した「日野地区まちづくり計画」の見直し作業をおこないました。地域の課題を洗い出し、その課題のうち「地域みんなで解決できるもの」を探し出し、課題解決の方法を考え、地区まちづくり計画としてまとめました。

まちづくりでは、地域に住む住民ひとり一人が主体的に関わり協力し合うことが重要です。日野地区の住民のできるだけ多くの方が手を取り合い、協働のまちづくりを進めていこうと思いを込め、まちづくり計画のタイトルは、10年前につくったものをそのままに、「よいとこちがうか日野の里、明日に向けて、手をつなごう」としています。

### 1. 住民参加のまちづくり

#### あったらいいなを形にしよう 日野の里

こんな風なまちになるといい  
「地域みんなが積極的に地域活動に参加しているまち」

<取り組み方針>

- (1) 地域活動に参加しやすい環境をつくる取り組み
  - ①地域活動に参加する負担をできるだけ軽減し、参加者を増やす工夫をする
  - ②地域住民の自治会への関心を深める
  - ③地域みんなが興味を持って参加できる、世代をこえたイベントを開催する
- (2) 地域活動団体を見直し、活動を活性化・継続するための取り組み
  - ①地域活動の団体の構成を見直し、地域に合った団体構成を目指す

たとえばこんなことをやってみよう

- ◎会合への女性・若手の出席を増やそう→出やすい時間帯に設定するなどの工夫が必要
- ◎役割を分担して、行事などの「お手伝い」から参加してもらおう
- ◎イベントの企画を、若い人たちに考えてもらえる方策を検討しよう

### 2. 全ての世代が住み続けたくなるまちづくり

#### おじいちゃん、おばあちゃん、みんなで暮らす日野の里

こんな風なまちになるといい  
「お年寄りが不便を感じずに、若者が住み続けたくなるようなまち」

<取り組み方針>

- (1) 地域内外の交通環境を充実させるための取り組み
  - ①公共交通充実を市や交通事業者に要望
  - ②地域バス等の運営について検討する
- (2) 高齢者・子どもたちのふれあい活動を充実させるための取り組み
  - ①いきいきサロンなどの充実により、より多くの人々の参加を促す
  - ②高齢者や子どもたちの活動の場を充実させる
  - ③高齢者や子どもたちの見守り活動を充実させる

たとえばこんなことをやってみよう

- ◎サロンやサークルは活発なところもあるので、お互いに訪問し合う
- ◎子どもたちが地域に貢献できる機会を増やそう(子どもたちが地域からほめられるように)

### 3. 子どもたちが誇りを持てるまちづくり

#### おらが里 自慢できる日野の里

こんな風なまちになるといい  
「子どもたちが安全に育ち、地域に誇りを持って成長できるようなまち」

<取り組み方針>

- (1) 子育て世代が住みやすい日野地区を実現するための取り組み
  - ①子どもたちの数を増やす
  - ②若者が定着するような工夫をする
- (2) 自慢できる住みよい日野地区を実現するための取り組み
  - ①子どもたちが安全に遊べる場所をつくる
  - ②地域の歴史・文化を保存・継承する
- (3) 地域への来訪者を増やすような取り組み
  - ①集客施設を増やす
  - ②地域の特産品づくりを進める

たとえばこんなことをやってみよう

- ◎子育て世代が何を求めているのかを調査しよう
- ◎神社マップを作ろう
- ◎一本桜の整備のあり方を提案しよう

### 4. 安全で安心で暮らしやすいまちづくり

#### おはよう・おかえり あいさつで作る日野の里

こんな風なまちになるといい  
「地域みんなが元気で、大きな不便を感じることなく暮らしていけるまち」

<取り組み方針>

- (1) 暮らしのマナーを守り育てる取り組み
  - ①あいさつは大切。あいさつを通じて顔の見える関係になる
- (2) 地域住民が安全に移動できるようにするための取り組み
  - ①歩道がない(または狭い)危険な道路はできるだけ安全にする
- (3) 杉原川を安全に保つための取り組み
  - ①杉原川の整備を河川管理者等に要望する
  - ②杉原川をもっと美しく保つ
- (4) 地域の遊休資源の有効活用を進めるための取り組み
  - ①空き家問題を解決する
- (5) 防犯・防災の取り組み
  - ①防犯活動
  - ②防災活動